

講義名	中国語資格試験準備 A		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	関 梅		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2 備考

主題と概要
この科目は、中国語検定試験を受ける学生のために開講したものである。この授業では中国語4級の検定試験の合格を目標としている。中国語検定試験のランクは準4級から始まるが、この授業ではワンランク上の4級レベルの内容を学習しながら、検定試験を受けるためのリスニングと筆記のトレーニングを進めていく。

到達目標
中国語検定試験4級に合格する目標を目指す。 4 技能に関する到達目標 聞く：平易な日常会話の内容を聞いて分かる 話す：自己紹介ができ、短い文の質問と答えができる 読む：300字以内の平易な内容の中国語を理解することができる。 書く：基本文型を応用して、簡単な自己紹介文を書くことができる。

提出課題
毎回の授業では、トレーニングの状況を確認するため、トレーニングのプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行う。また、不定時に宿題のプリントも配布する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
前回のトレーニングの結果を講評し、理解の不十分な文法項目を再度説明をする。

評価の基準
原則としてオンライン授業に5回の欠席及び1/3以上提出期限内にワークシートを提出しなかった場合は失格とします。 *切期限外に提出する場合は減点評価となる。

履修にあたっての注意・助言他
中国語4級検定試験に合格するには日々の努力は欠かせないため、単語の暗記と文法の復習を必要とする。

教科書
.教科書を使用しない。

プリント資料及び参考文献
検定問題の過去問題及びプリント教材

授業計画
1.Live/授業の進行についての説明と実力測定&検定試験の説明 2.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 3.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 4.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 5.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 6.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 7.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 8.Live/ワークシート配布：本講義の前半復習 9.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 10.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 11.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説 12.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 13.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 14.Live/ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング 15.Live/ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
本講義は中国語検定4級を目指すため、授業外での努力は欠かせない。 毎回の授業の後に、復習、予習課題がある。 そのための勉強時間も確保しなければならない。 継続的に練習するのに、毎日の学習時間は40分程度が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整する。